

家庭でできる省エネ・節電にご協力ください！



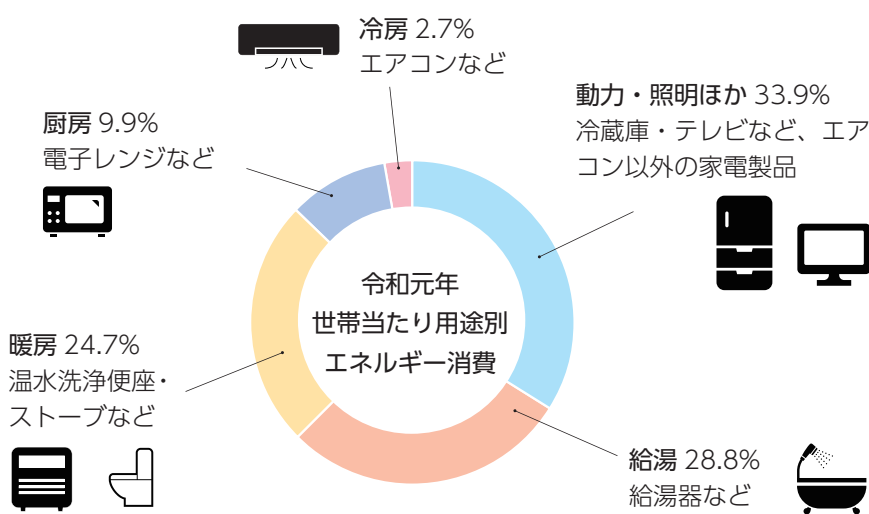
市は、令和2年8月に県内自治体で初めて気候非常事態宣言を表明し、地球温暖化などの環境問題に取り組んでいます。地球温暖化は、二酸化炭素（CO₂）などの温室効果ガスが原因とされ、元年度に家庭から排出されたCO₂のうち、約7割が電気使用による排出でした（出典：環境省「家庭部門のCO₂排出実態統計調査」）。

積極的な省エネルギー・節電は温室効果ガスの排出削減につながるとともに、家計の支出も削減できます。無理のない範囲でご協力ください。

☎ 環境対策課環境政策室 ☎ 内線 1411

■ エネルギー消費量が多い家電機器

家庭でのエネルギー消費量は「冷房」「暖房」「給湯」「厨房（台所）」「動力・照明ほか（家電機器の使用など）」の五つに分類できます。



出典：資源エネルギー庁「エネルギー白書 2021」

■ 家電機器を効率良く使いましょう

家庭の中で特にエネルギー消費量が多いのは、冷蔵庫・照明・テレビです。これらの家電機器や冷暖房などを効率良く使うことが省エネにつながります。

▶ 冷蔵庫

- ・開閉が多いと冷気が逃げるため、扉の開閉時間や回数を減らす
- ・物を詰め込み過ぎないようにする
- ・熱いものは冷ましてから入れる
- ・壁から適切な間隔で設置する
- ・背面や底面を掃除する

▶ テレビ

- ・テレビを見ないときは、主電源を切る。旅行など長期不在の場合は、プラグを抜く
- ・明るさを調整する前に、画面の掃除をする
- ・必要以上に音を大きくしない

▶ 照明

- ・蛍光灯やかさが汚れると、明るさが低下するため、照明器具を掃除して明るさを調整する
- ・必要のない明かりはこまめに消して、点灯時間を短くする
- ・省エネ型の照明器具に買い替える

▶ 冷暖房

- ・冷暖房の効果を下げないため、フィルターの掃除をこまめにする（2週間に一度の目安）
- ・カーテンを閉めて、窓から熱が入りするのを防ぐ
- ・サーキュレーターなどを併用する

■ 家庭でできる「省エネ」と「節電」とは

- ▶ 省エネ…総消費電力量を削減することが目的で、時間帯は関係なし
- ▶ 節電…電力不足による停電を回避することが目的で、ピーク時間の使用電力を抑えること

■ 3月21日、国は初めて「電力需給ひっ迫警報」を発令しました

原因は①3月16日の福島県沖地震で火力発電所が停止②寒さで電力需要が増大③悪天候で太陽光発電の発電量が低下④発電所の補修点検、によるものです。今後も発生する可能性があるため、日頃から節電にご協力ください。